

東京農工大学農学部1年生の見学が開催されました

研究推進部 研究推進室

9月24日、東京農工大学農学部1年生12名が、「地域生態システム学実習」の一環として当部門を見学しました。引率教員として、加藤先生、斎藤先生、島本先生が参加されました。

到着後、まず第一会議室にて、農研機構と農工研の概要、さらに研究職への道筋について説明がありました。

続いて、水利工学研究領域 流域管理グループの相原星哉研究員より「流域治水に関する研究ー農業施設の活用で洪水を軽減ー」について説明がありました。

農業用ハウスに移動して、資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループの土屋遼太研究員から「施設園芸の概要と研究ーエネルギー・環境制御・施設構造ー」について説明がありました。

再び会議室に戻り、施設工学研究領域 施設保全グループの渡部恵司上級研究員より「農業水利施設における生物多様性の保全」の説明がありました。

最後に、水利工学研究領域 流域管理グループの久保田富次郎グループ長から、「農工研バーチャル潜入記ー国立研究所ってどんなところ？」と題して、研究所、研究室、研究者について説明がありました。

学生からは、各研究者に対して数多くの質問が投げかけられ、関心の高さが伺えました。1年生にとって研究所、研究者などに触れる貴重な機会になったと思っています。



説明する相原研究員



ハウス内で説明する土屋研究員



説明する渡部上級研究員



説明する久保田グループ長